# 30cmリビング扇保証書

本書は、お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社ユーイングにご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ユーイングへご連絡ください。
4.保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ)お買上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ)本書のご提示のない場合。
(ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6.本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を厳守させますので、ご了承ください。

| 品番 | MF-HR30F | | |
|---|---|---|---|
| 保証期間 | 対象部分 | 期間（お買上げ日より） | 保証の条件 |
| | 本体 | 1年 | 持込修理 |
| お買上げ日 | 年　月　日 | | |
| お客様 | お名前<br>ご住所<br>電話　　　様 | | |
| 販売店 | 販売店名<br>ご住所<br>電話　　　印 | | |


株式会社ユーイング

【お客様相談室】TEL 0120-911-597（無料）

〒639-1124　奈良県大和郡山市馬司町800番地

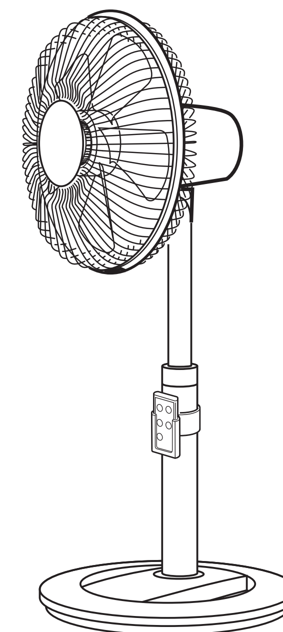
受付け時間　：　月曜日から金曜日（祝日・当社休日は除く）午前9時～午後5時


MORITA

# 30cmリビング扇風機 取扱説明書

品番 MF-HR30F

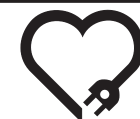
このたびは、扇風機をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。



保証書添付

タッチセンサー　マイコン　リズム風　8時間入/切独立タイマー　リモコン　コードリール

## 愛情点検　長年ご使用の扇風機の点検を!!



ご使用の際このような症状はありませんか？

・電源を入れても、動かないときがある。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・運転中に異常な音や振動がする。
・こげ臭いにおいがする。
・差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
・その他の異常、故障がある。

**ご使用中止**
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

## 仕様

| 品番 | MF-HR30F | |
|---|---|---|
| 電圧（V） | 100 | |
| 周波数（Hz） | 50 | 60 |
| 消費電力（W） | 43 | 47 |
| 回転数（r/min） | 1130 | 1100 |
| 風速（m/min） | 196 | 183 |
| 風量（$m^3$/min） | 46 | 45 |
| 首振角度（度） | 90 | |
| コード（m） | ビニルコード　1.6 | |
| 高さ（mm） | 715～865 | |
| 質量（kg） | 3.9 | |

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。 ■

この扇風機は、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の２つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠ 注意 | 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。 |

## 表示の例

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

| | |
|---|---|
| 🚫 | この記号は、してはいけない『禁止』内容です。 |
| ❗ | この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。 |

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚠ 警告

製品に異常がある場合はただちに使用を中止してください。
●けがや発火の原因になります。

分解禁止
絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●異常動作してケガや発火の原因になります。

禁止
羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。
●ケガの原因になります。

禁止
電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

水ぬれ禁止
水につけたり、水等をかけたりしないでください。
●ショート・感電のおそれがあります。

プラグを抜く
お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。

ぬれ手操作禁止
ぬれた手で抜き差ししないでください。
●不意に作動して、ケガをしたり、感電の原因になります。

禁止
交流100V以外では使用しないでください。
●異常発熱して、火災の原因になります。

禁止
コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。



## ⚠ 注意

禁止
風を長時間、からだにあてないでください。特に入タイマー運転の場合はご注意ください。
●健康を害することがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。

禁止
油や薬品のかかる場所で使用しないでください。
スプレーをかけないでください。
(殺虫剤、整髪用、掃除用等)
●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。

禁止
次の場所では、使用しないでください。
(ガスレンジ等の炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所)
●炎の立ち消え、引火・爆発やショートして火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

可動部へ接触禁止
ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。
特に持ち運びする際にはご注意ください。
●ケガの原因になります。

禁止
障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所で使用しないでください。
特に入タイマーの場合にはご注意ください。
●破損や故障の原因になります。

禁止
製品を倒さないでください。
●羽根が割れたり、故障や事故の原因になります。

禁止
扇風機カバーをご使用の場合、ホコリ等がつまった状態で使用しないでください。
●モーター部が過熱し、故障や事故の原因になります。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●感電やショートして発火することがあります。

# 各部の名称

＜付 属 品＞

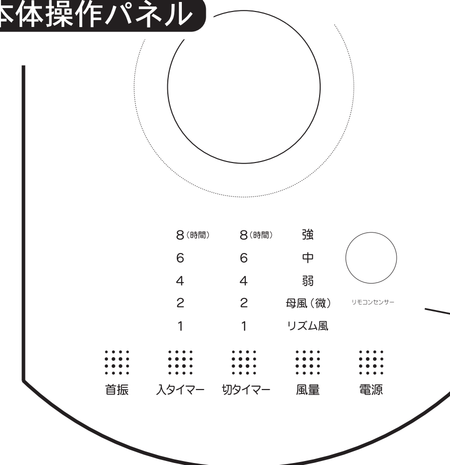


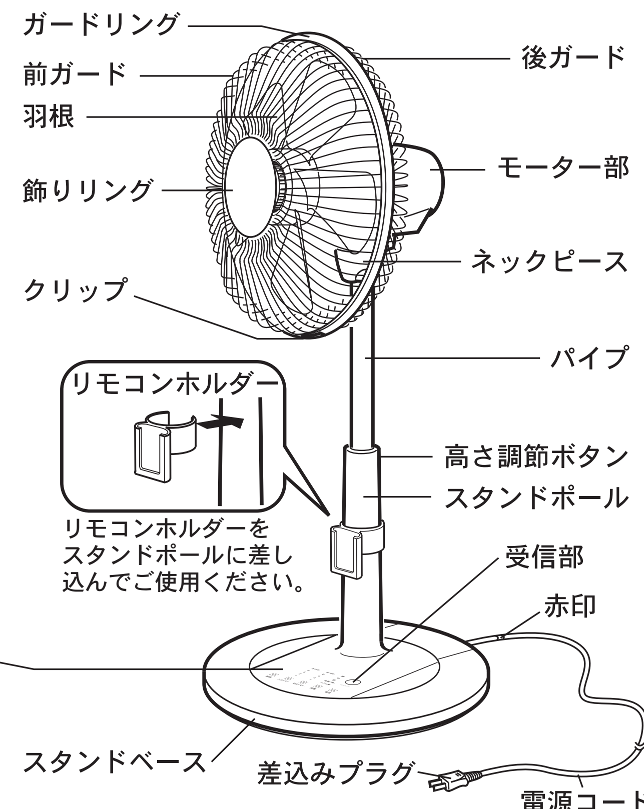

リモコン
(ワイヤレス式)

リモコン
ホルダー

リチウム電池
CR 2032 DC3V

本体操作パネル




リモコンホルダーをスタンドポールに差し込んでご使用ください。

※製品は、絵と少し違うことがあります。

# 組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。
●ガード、羽根を取り付けていない状態では、モーター部をお望みの角度（上下）に調節できません。

## ⚠警告


禁　止

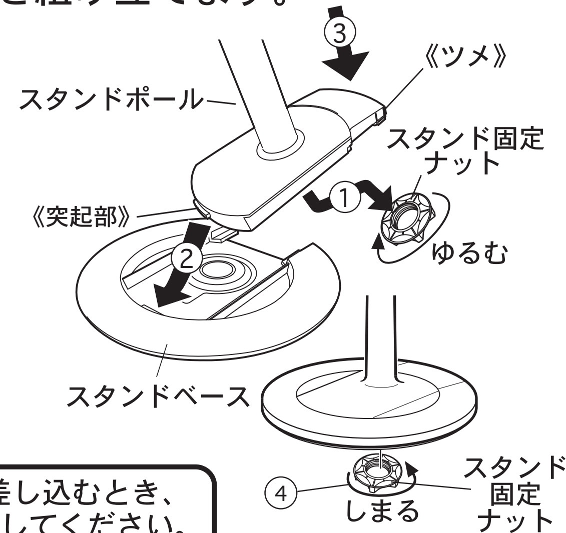
組み立て前、あるいは組み立て中に差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。
●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。


禁　止

組み立て前、あるいは組み立て中に『高さ調節ボタン』を操作しないでください。
●モーター部が飛び出して、ケガの原因になります。

## 1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

① スタンドポールからスタンド固定ナットをはずします。
② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースにスタンドポールの《突起部》を差し込みます。
③ スタンドポールをスタンドベースに押し込み、スタンドポールの《ツメ》がスタンドベースに「カチッ」と音がするまで押し込みます。
④ スタンドベース底部よりスタンド固定ナットで使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。

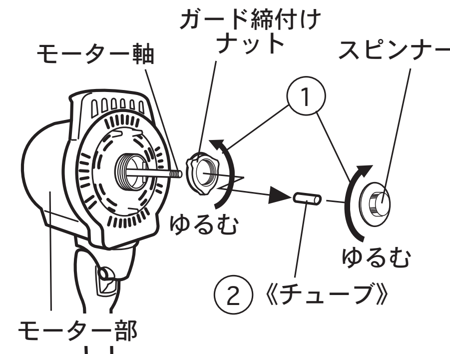



**ご注意** スタンドポールをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

## 2 モーター部の下記部品をはずします。

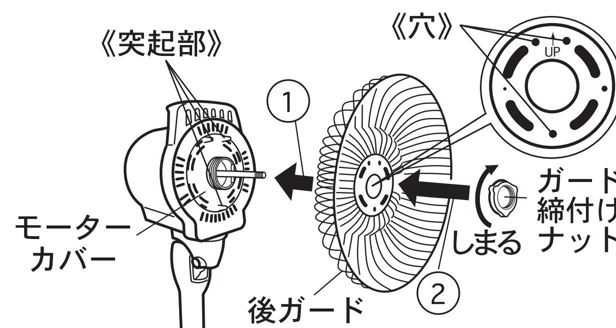
① スピンナーとガード締付けナットはモーター部についていますので『ゆるむ』の方向にはずれるまで回してください。
② モーター軸の《チューブ》をはずします。
（チューブをはずさないと羽根をつけることができません。）

※チューブは扇風機を保管するとき、モーター軸のサビ防止となりますので捨てないでください。




## 3 後ガードを取り付けます。

① モーターカバーの《突起部》に後ガードの《穴》を合わせます。
※２つ穴の開いている方を上にします。
② ガード締付けナットを『しまる』の方向に回して、後ガードが使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。



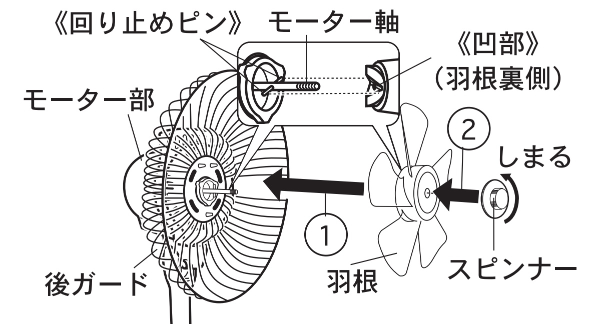





| ⚠警告 | ガード締付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。<br>●締め付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。 |
|---|---|

## 4 羽根を取り付けます。

① 羽根の《凹部》とモーター軸の《回り止めピン》が合うようにして羽根を差し込みます。
② スピンナーを左回転『しまる』の方向へ回して、羽根が使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

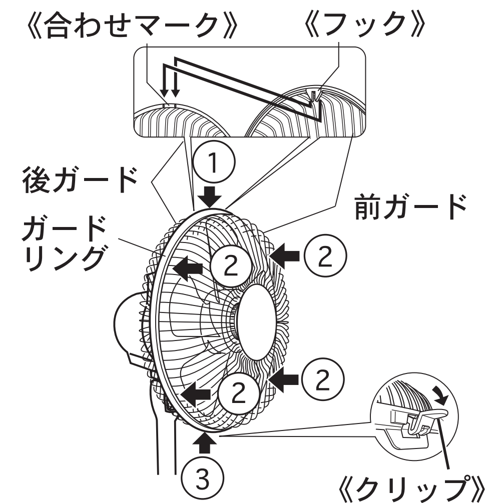



## 5 前ガードを取り付けます。

① 前ガードの《フック》を後ガードの《合わせマーク》に合わせて掛けます。
② 前ガードの全周を押さえて上から下へ順番に後ガードへ確実にはめ込みます。
③ 《クリップ》は前ガードと後ガードをはさみ込むように確実に止めてください。

### 前ガードをはずすときは･･･

●《クリップ》をはずし、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードをはずしてください。




# 使い方

■はじめてご使用になるときは、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■操作は、リモコンと本体操作パネルの両方でできます。
■各ボタンを押すたびにブザー音がします。
■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
■差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態では、操作パネルが少し熱くなることがありますが、制御回路に微電流が流れているためで、故障ではなく危険もありません。
■差込みプラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。

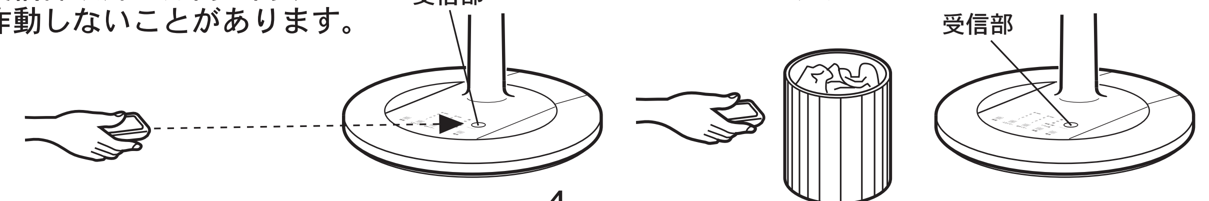

禁　止

操作パネル部に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店で点検を受けてからご使用ください。
●事故や故障の原因になります。

## リモコン操作上のご注意

■リモコンの送信部をスタンドの受信部に向けて操作してください。
●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。

■リモコンの送信部とスタンドの受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。



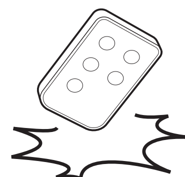
■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
■運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、『切』になりますのではじめから操作し直してください。

## リモコン取り扱いについてのご注意

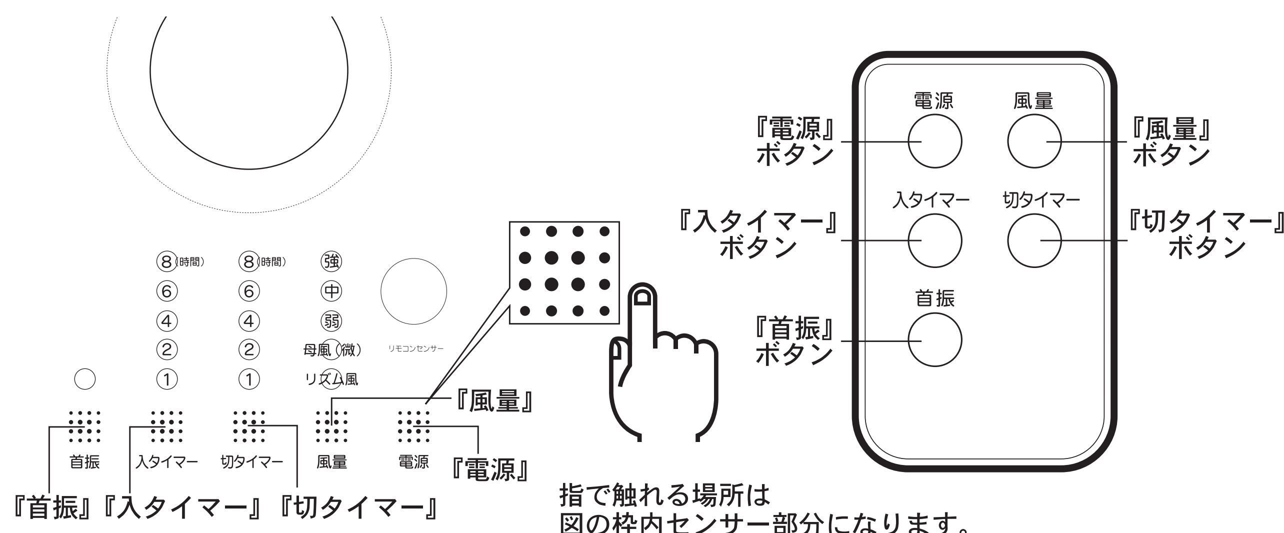
●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の置き場所などで異なります。




●リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。



## ボタンの使い方




※タッチセンサーに触れる時は、指でセンサー部分全体に触れてください。
接触面が小さいと反応しにくくなります。また、連続して触れる時は、一回ずつセンサーから指を離してゆっくり触れてください。

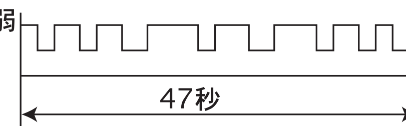
### ■『電源』

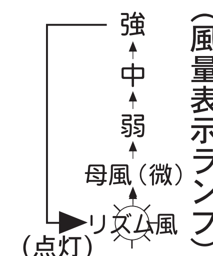
●『電源』に触れると電源が入り、運転状態になります。
●運転中に『電源』に触れると表示ランプが消え、全ての運転が停止します。
●運転停止後差込みプラグを抜かず、再度『電源』に触れると、停止前の風量設定と首振設定で運転をします。
●入タイマー設定中に『電源』に触れると、入タイマーが解除され運転を開始します。
●切タイマー設定中に『電源』に触れると、切タイマーが解除され運転が停止します。



### ■『風量』

●運転中、又はタイマー設定中に『風量』に触れると風量が切り換わり、風量表示ランプが右図のように切り換わります。
※母風は『弱』より弱い風量です。
●リズム風は右図のような周期で変化します。




※『リズム風』『母風』『弱』『中』『強』どれか一つでも不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止してください。（例：『強』に不具合が生じたが、『リズム風』『母風』『弱』『中』であれば正常に作動する。）




### ■『入タイマー』／『切タイマー』

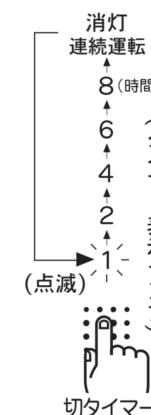
●『1』『2』『4』『6』『8』時間の5段階でタイマーをセットすることができます。
●タイマー設定中に差込みプラグが抜けた場合や停電した場合は、初めから操作をやり直してください。
●タイマー設定が全て確定後に変更する場合は、『電源』に触れてタイマー設定を解除してから、操作をやり直してください。

### 切タイマー

●設定した時間を経過すると自動的に運転を停止します。

1 『電源』を操作して運転を開始します。
●切タイマーは、運転中でないと設定できません。

2 『切タイマー』に触れてお望みの時間を設定してください。
●ボタンを押すたびにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示ランプが点滅します。30秒後に設定が確定し、タイマー表示ランプが点灯に変わります。
●設定後、時間が経過するとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの時間を表示します。
●設定時間が経過すると、タイマー表示ランプが消え、自動的に停止します。
●切タイマー確定後に切タイマーを設定し直す場合は、『電源』に触れて、タイマー設定を解除してから、設定し直してください。

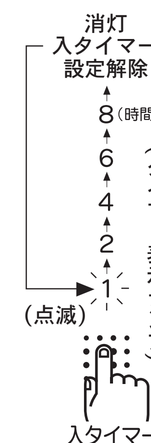



### 入タイマー

●設定した時間を経過すると自動的に運転を開始します。

1 運転を停止させた状態にします。
（差込みプラグがコンセントに差し込まれているのを確認してください。）
●入タイマーは、運転停止中でないと設定できません。

2 『入タイマー』に触れてお望みの時間を設定してください。
●ボタンを押すたびにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示ランプが点滅します。30秒後に設定が確定し、タイマー表示ランプが点灯に変わります。
●設定後、時間が経過するとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの時間を表示します。
●設定した時間を経過すると、タイマー表示ランプが消え、設定された状態で運転を開始します。
●入タイマー確定後に入タイマーを設定し直す場合は、『電源』に触れてタイマー設定を解除してから、設定し直してください。



## 切タイマー入タイマー同時設定

1 運転中に『切タイマー』に触れて、運転を停止する時間を指定してください。

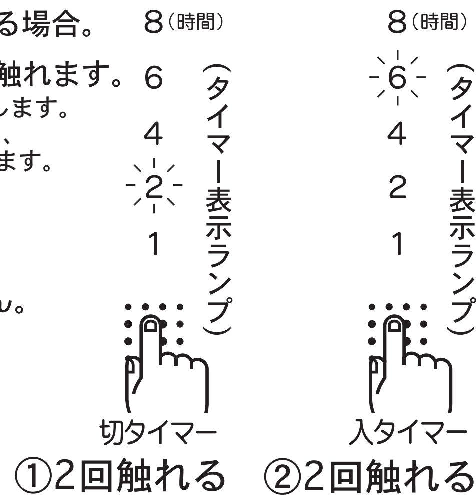
●切タイマー・入タイマーの同時設定は、運転中でないと設定できません。

2 続いて『入タイマー』に触れて、運転を開始する時間を指定してください。

(例)2時間後に運転を停止し、6時間後に運転を開始する場合。

①『切タイマー』に2回触れます。
● "2" のランプが点滅します。
(②の動作に入ると、設定が確定し、ランプが点灯に変わります。)

②『入タイマー』に2回触れます。
● "6" のランプが点滅します。
30秒後に設定が確定し、ランプが点灯に変わります。




※入タイマーの設定時間は、切タイマーの設定時間より長い時間でないと設定できません。
(例) 切タイマーを2時間に設定する場合は、入タイマーは4時間以降。
切タイマーを8時間に設定した場合は、入タイマーの設定はできません。

※タイマー設定中はタイマー表示ランプが点滅し、設定確定後は点灯します。
設定後は時間の経過とともにタイマー表示ランプの状態と位置が右記のように変化します。

| | | |
|---|---|---|
| 残時間 | 8時間 | 8のランプ点灯 |
| 残時間 | 7時間 | 8のランプ点滅 |
| 残時間 | 6時間 | 6のランプ点灯 |
| 残時間 | 5時間 | 6のランプ点滅 |
| 残時間 | 4時間 | 4のランプ点灯 |
| 残時間 | 3時間 | 4のランプ点滅 |
| 残時間 | 2時間 | 2のランプ点灯 |
| 残時間 | 1時間 | 1のランプ点灯 |
| 設定時間満了後消灯 | | |

※切タイマー、入タイマー同時設定確定後、設定し直す場合は、『電源』に触れてタイマー設定を解除してから、再度設定し直してください。

■『首振』 ※運転中、又はタイマー設定中に操作できます。

●『首振』を押すと左右に首振りをし、もう一度ボタンを押すと首振りを停止します。

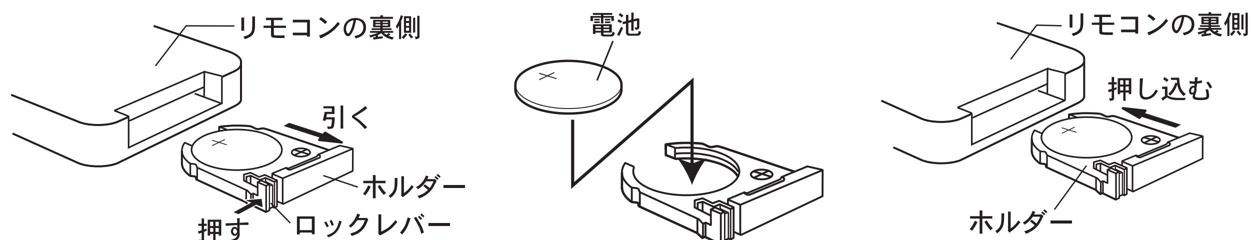
首振運転中に、無理やり本体を停止させたり、回したりしないでください。
●故障の原因になります。

## 電池交換のしかた及びご注意

1 リモコンを裏返し、ロックレバーを矢印の方向に押しながらホルダーを図のようにはずします。

2 電池を正しく入れます。
(必ず⊕面を上にすること)

3 ホルダーを取り付けます。





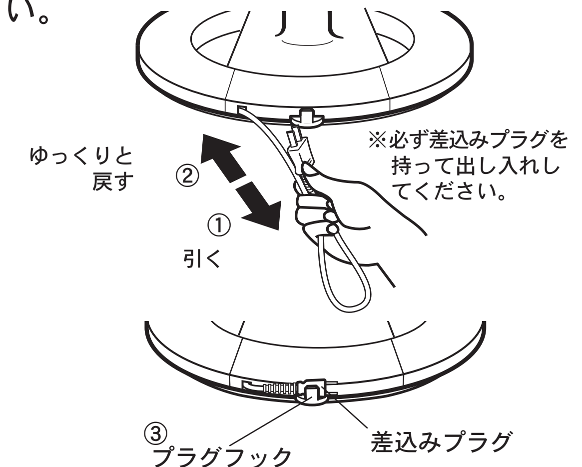

**ご注意**

■電池が飛び出さないようにゆっくりと引いて取り出してください。
■電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
■電池は、指定の電池(コイン形二酸化マンガンリチウム電池3.0V、品番CR2032)と交換してください。
■⊕⊖をリモコンの表示に合わせて、正しく入れてください。
■電池は、充電、ショート、分解、加熱しないでください。
■電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。ボタン電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
■シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

## コードリールの使い方

●お好みの長さまで引き出して、ご使用ください。
※赤印以上は引き出さないでください。

■コードの収納の仕方
※右図のように差込みプラグと電源コードを持って巻き込んでください。
①矢印の方向に電源コードを約5〜10cm程度引きます。
②次に、電源コードをゆっくりと戻します。
●コードがよじれているときは、よじれをもとに戻してから、ゆっくりと巻き込んでください。
●コードを赤印以上引っ張ったときは、少し強めに引っ張ってから巻き込んでください。
③差込みプラグをプラグフックに引っ掛けます。




## 高さ調節ボタンの使い方

●高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上または下にスライドし、お望みの高さに調節してください。
●持ち運びする場合には、パイプを一番下に押し下げて固定してください。(中間では固定できません。)

禁止
羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押さないでください。
●ケガの原因になります。




## 扇風機を移動する際に・・

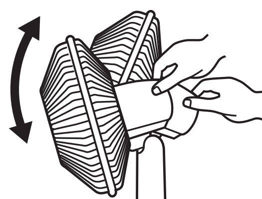
■扇風機を移動する際は、ガードにガタツキがないかを確認してください。
■羽根が回転している状態では、移動しないでください。

## 風向きの変え方

■風向きを上下に変えたいとき

フリーネック式

●モーター部を持って上・下に変えます。



■風向きを左右に変えたいとき

自由首振式

●モーター部を持って左・右に変えます。



|  警告 |  禁止 | 使用中にガードを持って、上下・左右に風向きを変えないでください。●ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、けがをするおそれがあります。 |
|---|---|---|

# お手入れと保管について

## お手入れのしかた

●お手入れ前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●羽根、本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で乾ぶきしてください。
●シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。（樹脂や塗装部分が変色、変質するおそれがあります。）
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。
●長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

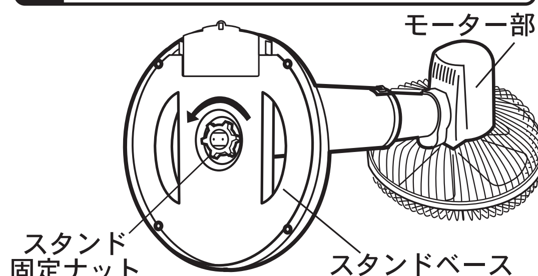
## 保管のしかた

●保管の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●スタンド部分は次の順序で分解してください。

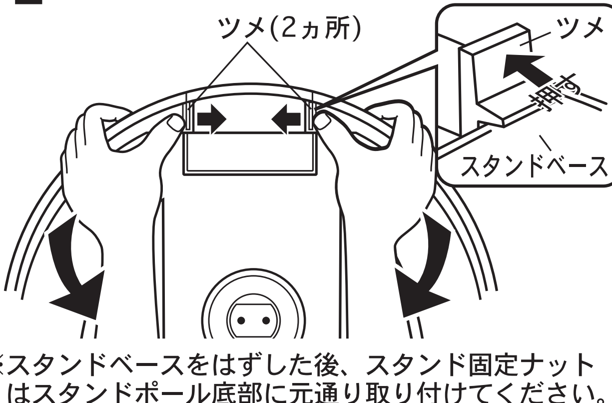
### スタンドベースのはずし方

1 モーター部を上にして本体を横にします。スタンドベース底のスタンド固定ナットを矢印の方にまわしてはずします。

注意 必ずガードを取り付けた状態で行ってください。
●モーターの故障の原因になります。




2 ツメを親指で内側に押しながらスタンドベースを手前に引くようにしてはずします。




※スタンドベースをはずした後、スタンド固定ナットはスタンドポール底部に元通り取り付けてください。

●ガード及び羽根は『組み立て方』と逆の順序ではずしてください。
●モーター軸は、よく汚れを取った後、全面にうすくミシン油をひき、もとどおりにチューブをかぶせてください。
●本体や羽根についた油はよくふき取ってください。樹脂が変色したり破損するおそれがあります。
●包装ケースの説明図どおりに包装してから湿気の少ないところに保管してください。



## 修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

| こんなとき | おたしかめください |
|---|---|
| 『電源』に触れても羽根が回らない | ●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか?<br>●羽根とガードが当たっていませんか？<br>●リモコンの電池が古くなっていませんか？ |
| 異常音がする | ●羽根はしっかりと取り付けていますか？<br>●ガードはしっかりと取り付けていますか?<br>●羽根とガードが当たっていませんか? |


分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

## 修理サービスについて

(1)保証書
●この製品には、保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より1年間です。
(2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
(3)補修用性能部品の保有期間
この扇風機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後８年です。
(4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。
修理には特殊な技術が必要です。
(5)修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

|  | ※【設計上の標準使用期間】10年<br>設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。 |
|---|---|

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-1による

| | | | |
|---|---|---|---|
| 環境条件 | 電圧 | 単相100V又は単相200V | 製品の定格電圧による。 |
| | 周波数 | 50Hz及び60Hz | |
| | 温度 | 30℃ | |
| | 湿度 | 65％ | |
| | 設置 | 標準設置 | 機器の取扱説明書による。 |
| 負荷条件 | | 定格負荷（風速） | 機器の取扱説明書による。 |
| 想定時間など | 運転時間 | 8（h／日） | |
| | 運転回数 | 5（回／日） | |
| | 運転日数 | 110（日／年） | |
| | スイッチ操作回数 | 550（回／年） | |
| | 首振運転の割合 | 100（％） | |
| 注記　環境条件の湿度65％は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。 | | | |

●「経年劣化とは」・・・長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。